

開催日:平成30年5月15日(火)

場所:生野区役所6階 604・605会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
亀田委員	地域活動協議会に対する財政支援の件に関連して、地域で紙ごみの収集を古紙回収業者に委託契約して回収する「コミュニティ回収」が始まっているが、現在の実施状況や財政的な収益金額はどのようになっているのか？また、区役所として勧めていくようなことはしているのか？	コミュニティ回収の実施状況だが、地域で積極的に広めていただいている効果もあり、平成30年3月現在として、19地域の内、13地域で実施していただいております。大阪市24区でもかなり多い方に入っている。財政的な収益の詳細については把握していないが、自主財源の確保との観点から、区役所としても非常にありがたいと感じており、今後実施したいという地域があれば区役所としても協力できることがあればしていきたい。
山本委員	資料の中に、目標60%以上、実績41.2%など記載があるが、これは何の数値なのか？	毎年1,500件を無作為抽出した区民アンケートの結果からの数値となる。区政会議でお示した資料には具体的な数値までは記載されていないが、区民アンケートの報告書には具体的な数値も記載している。なお、報告書は区ホームページで公表しているのので、そちらをご参照願いたい。
山本委員	LINEスタンプを作成し販売しているが、どれぐらい販売でき、どれぐらいの収益があったのか？	平成30年1月に販売を開始して、4月までの累計で、500個弱売れている。収益については、1個あたり平均約30円が区の収入になるため、1万4,000円弱となっている。
亀田委員	掲示板に、『「広報いくの」届いていますか？』のポスターが貼られているが、郵送とホームページ以外で閲覧する方法、例えばアプリでの閲覧のリンクのQRコードを付けてはどうか？	「マチイロ」というアプリで各区の広報紙を掲載している。現在、ポスターにQRコードは付いていないが、より効果的な情報発信として、今後の参考にさせていただきます。 <b>【補足説明】</b> ・広報紙のリニューアルに応じて、無料でお届けしますというカラーのポスター(QRコード入り)を新たに作成し、区内のすべての掲示板にて周知した。なお、このQRコードでアクセスした広報紙の申し込みのページには「マチイロ」アプリのダウンロードの紹介も掲載している。 ・さらに、「マチイロ」自体の紹介ポスター(アプリダウンロードQRコード入り)についても別途作成したので、引き続き区内への周知を図っていく。
山本委員	「広報いくの」が5月号から、随分変わり、華やかになったという印象を受けた。表紙の写真などは、職員の皆さんが撮ってきた写真とのことなのでその説明をして、地域の人に読んでもらうように宣伝する。	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
伊藤(千)委員	<p>「桃谷ロイター」という歴史なども入れた地域情報紙を発行している。配付先は、これから広く開拓していく段階で、生野区内の飲食店や区の施設、図書館、社会福祉協議会、大学の研究室など、つながりのあるところから順次お願いしていこうと考えている。昨年度は大阪市ボランティア活動振興基金の助成を受けて、ゼロ号と1号については、1,500部ずつ発行した。今年度は、別の助成金を受けられることができたので、継続して発行することができる。どうしても財源の確保の問題が生じるので、次年度からは企業の広告を入れるなど、賛同を得て続けていきたい。</p>	—
服部委員	<p>「民泊のごみの出し方が悪い。」と地域で多くの声が挙がっている。外国籍の方は日本のごみの出し方が分からないので残飯なども関係なく出して、猫がごみを荒らして困っている。何か良い方法があれば教えてほしい。</p>	<p>民泊からのごみは、一般的な大阪市の回収とは別の事業系ごみとなり、事業者が適正に処理をする必要がある。適正なごみ処理ができていないということは、違法民泊の可能性もある。大阪市保健所に民泊の相談窓口(通報窓口)があるので、そちらを活用願いたい。 【補足説明】 違法民泊相談窓口(通報窓口) …大阪市保健所 環境衛生監視課 旅館業指導グループ 電話:06-6647-0835</p>
山本委員	<p>区政会議の全体会の配置について、議長への質問は前を向く、区役所からの回答は後ろを向く形になっている。前後を向くのではなく、前のみを向いて行えるようにしてほしい。また、全体会は2時間しかないので、質疑の時間を多くとるという観点から前段の説明の部分を短くし、できるだけ皆さんで話し合う時間を多くとる仕組みを考えてほしい。</p>	<p>今回のご意見を踏まえ、次回の全体会には工夫させていただく。</p>
山本委員	<p>中間支援組織について、2年に1回交代することになっているが、現在の中間支援組織には非常に助けられている。引き続き、同じところと契約することはできないのか？</p>	<p>大阪市の制度では、本来、1年毎に選定をする必要があるが、生野区では1年目の評価を見たうえで、最大もう1年延長できるという形にしており、最大2年の継続になっている。それ以降はあらためて選定せざるを得ず、何卒ご理解願いたい。</p>
伊藤(千)委員	<p>毎月19日の「いくのの日」に合わせて空き家カフェを開催している。空き家カフェでは、空き家のオーナー、住む場所や何かをやりたい場所を探している人たち、など20~30の方が集まって情報交換を行っている。情報交換をする中で、実際に空き家を活用した事例が少しずつ増えてきており、この活動がさらに地域で広まり、空き家の活用事例が増えていけばと思う。</p>	—
川上委員	<p>ものづくりの匠の小冊子を作成したら面白いというところから、生野区のまち歩きと職人の工場を訪問している。その調査結果をものづくりの魅力として発信できればと考えている。</p>	—
亀田委員	<p>生野区の地域で行う行事の景品などは、地産地消というか、地域活性化のためにも、地域でものづくりをしているところから購入するなど、地域にお金を落として、また次に回していくという形にしている。</p>	—

平成30年度生野区区政会議(第2回まちの未来部会)  
 いただいた主なご意見・ご提言(要約)と区の方考え方、対応

開催日:平成30年10月30日(木)

場所:生野区役所6階 502・503会議室

発言者	ご提言(要約)	区の方考え方、対応(要約)
亀田委員	<p>オリジナル婚姻届をつくるのは良いが、提出してしまうと手元に残らないのは寂しい部分があるので、受付の返送書類や、写しをオリジナルのデザインで返すというようなことを考えた方が良いと思う。</p>	<p>複写式などで、お手元にお返しするということは特に考えてはいませんが、例えば、スマホ等で写真に撮るなどの方法で記念に残していただければと考えている。</p>
川上部会長 和田委員 山本委員 亀田委員	<p>・北巽地域では去年から日生学園の留学生を交えて、スリーアイズ大会や一斉パトロールなどを行っているが、スリーアイズ大会の賞品や一斉パトロールのお茶代などは町会費から支出していることもあり、「地域一体で一緒に輪の中に入って、仲良くやっていく。」という趣旨は理解してくれているものの中々うまくいかない。</p> <p>・住民側からすれば、どういう人かわからないこともあり不安を抱えていると思う。どこの学校に行つて、どんな勉強をして、どこに住んでいるなど、情報を開示すれば地元の人でも安心して受け入れられる体制になると思う。</p> <p>・いきなり最初から何もかもうまくいくということはないと思う。回を重ねていくことが大切だと思う。</p> <p>・中川地域に外国の方向けの寮が建っている。ごみ出し方や騒音などでトラブルになることは想定できたので、建築中からオーナーと話し合い、入居者は町会に入ってもらおうようにしている。</p>	<p>—</p>
山本委員	<p>東桃谷地域では新しい防災マップも完成し、避難所への避難訓練も行った。地域防災計画では、公的機関が支援できるまでには数日掛かるので、それまでの間は地域で備蓄物資を使って何とかするようになっている。もし災害があった時に避難した後、誰がどういう指示をして、どういう形で避難所を運営していくのかという訓練をしていないので、パニックになると思う。「自分の命は自分で守る！」ということは浸透してきているので、ある程度、区役所がリードをとって進めてほしい。</p>	<p>—</p>
亀田委員	<p>ホームページ、フェイスブック、ツイッターは起動して見に行く必要があるが、メールの場合は自主的に見に行く必要がなく、受け身で情報を得られるので便利だと思う。</p>	<p>—</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>和田委員 山本委員</p>	<p>・台風の際に避難所が開設されたと思うが、バリアフリーのトイレが1箇所ぐらいしかなく、また高齢の方のトイレの介助だけでも大変だった。もっと多くの方が避難した場合はさらに大変になるので、勝山地域では今度、介助の講習を受けようと企画している。また、学校もバリアフリーのトイレを増やすなど早急に対策をお願いしたいし、洋式のトイレを増やしてほしい。</p> <p>・簡易トイレでマンホールの上に置くトイレがあると聞いた。そうすれば水も要らないし、下水にそのまま流れる。災害時に便利だと思う。</p>	<p>マンホールの上に置く簡易トイレは、区内の幾つかのマンホールでは設置することができるが、下水の配管が傾斜している必要があるため、すべてのマンホールに設置できるわけではない。</p> <p>【補足説明】 平成22年度～平成25年度にかけての計画で、小中学校の各フロアに最低一つの洋式ブースを設置することとされ、生野区内の小中学校すべてに設置されました。今後は、校舎の老朽化対策である校舎改築等を実施する際に、学校と協議の上、順次洋式化を図ることとしています。</p>
<p>服部委員</p>	<p>この前、林寺・生野・舍利寺・田島・西生野の地域で今宮小中一貫校の見学に行ったが、参加者が少なく、寂しい見学会だった。今宮小中一貫校を見学して、学校の付近の環境は非常に良くなっていた。見学をして反対というのは良いが、見学もしないで反対というのはおかしい。</p>	<p>小中一貫校の話し合いは、平成25年度ぐらいから始めており、長引いていることから関心がどんどん離れ、参加者が少なかったことは大きな課題だと考えています。また、見学会は、学校に“こども”がいる状態で行う必要から平日に限られ、来ることができない保護者の方もいたと思います。今後、見学に行ってもどのような状況だったなどの情報は発信をしていきます。『学校づくりは、まちづくり』そのものだと考えているので、良い学校をつくりたいと考えています。</p>
<p>川上委員</p>	<p>まちづくり協議会と連合振興町会、地域女性団体協議会と地域振興会の女性部などの団体は、活動がよく似ており、整理してほしい思いがある。そのことについて、どのように考えているのか</p>	<p>まちづくり協議会の中に地域振興会や社会福祉協議会などの各種団体があり、まちづくり協議会は様々なことを一緒に行っていくための大きな器を考えています。その中で、それぞれが互いに役割を果たしていくことが基本の考え方となる。確かに分かりにくい部分はあるが、それぞれが様々な活動を一緒になって行っていく中で、様々なことができると考えています。</p>